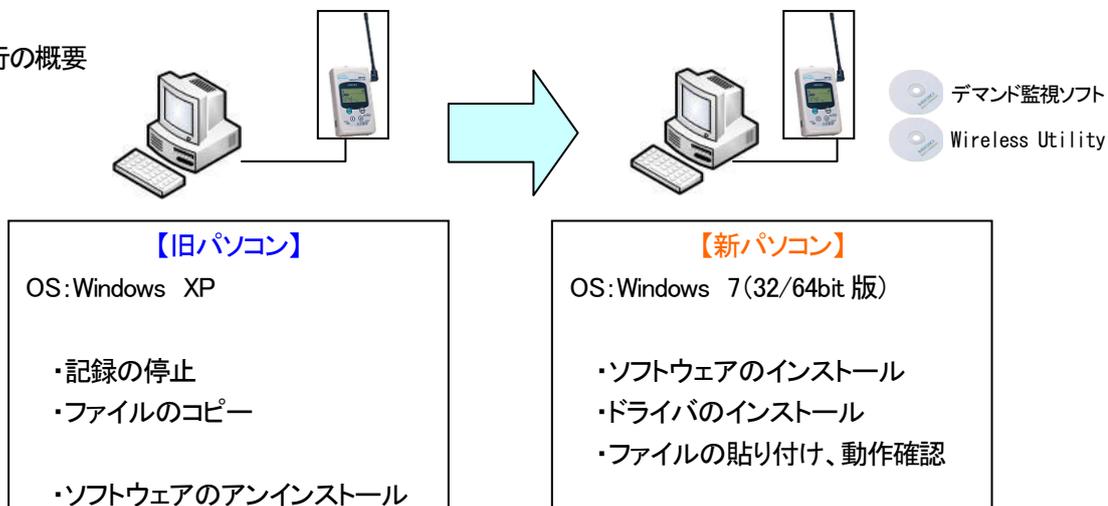


デマンド監視システムの監視用パソコンの移行手順書 (Wireless Utility の場合)

本紙は、デマンド監視装置として運用しているパソコンを、別のパソコンにソフトウェア等を移行するための手順書です。(パソコンのOSは、Windows XP から、Windows 7 としています)

移行には、約 1~2 時間程度かかります。
(旧パソコンに保存されているファイルサイズに依存します)
記録停止中は、データの欠損およびデマンド監視ができませんので、
電力の使用が少ない時間帯での作業をお勧めいたします。

1. 移行の概要



2. ソフトウェアのサポート状況

対応 OS	Windows7		Windows8/8.1	
	32bit 版	64bit 版	32bit 版	64bit 版
9688 デマンド監視ソフト	○ Ver1.21 以降	○ Ver1.22 以降	△ Ver1.21 以降	△ Ver1.22 以降
9688-01 デマンド監視ソフト	○ Ver1.21 以降	○ Ver1.22 以降	△ Ver1.21 以降	△ Ver1.22 以降
9688-30 デマンド監視ソフト	○ Ver1.03 以降	○ Ver1.04 以降	△ Ver1.03 以降	△ Ver1.04 以降
9689 デマンド監視制御ソフト	○ Ver1.21 以降	○ Ver1.24 以降	△ Ver1.21 以降	△ Ver1.24 以降
Wireless Utility	○ Ver1.33 以降		△ Ver1.33 以降	

○ : 対応済

△ : 一部規制事項あり、詳しくは HP のサポート状況を参照ください。

http://www.hioki.co.jp/support/soft_win8.php

3. 事前に準備するもの（ご購入時の選定により、ソフトウェアの型番が異なります）

－ 1. デマンド監視ソフト CD-R 1枚

※：お手元のCD-Rのバージョンが古く、インストールできないお客様は、最寄りの営業所までお問い合わせください。

－ 2. USB 警告灯 1台（オプション品）

（アイエスエイ社製 UX103 は、64bit 版をサポートしていません）

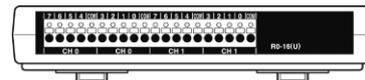


－ 3. 9689 デマンド監視制御ソフト CD-R 1枚

RO-16(U) リレー接点出力装置と、付属 CD-R 1枚（ドライバインストール用）

ライフトロン社のホームページからもダウンロードできます。（ファイル名：USB10.LZH）

<http://www.lifetron.jp/>



－ 4. 3913 用 Utility (Wireless Utility Ver1.33 以降) CD-R 1枚

弊社ホームページより、最新版がダウンロードできます。

この機会に、ぜひ更新ください。

「サポート」－「フリーソフトダウンロード」－「レコーダ・データロガー・遠隔・電流センサ」

http://www.hioki.co.jp/support/soft01/recorder_logger_current/41/



－ 5. 3913 用 USB ドライバ (Windows 7 用)

最新版が、弊社ホームページよりダウンロードできます。

インストール手順書もあわせてダウンロードください。

http://www.hioki.co.jp/support/soft01/recorder_logger_current/42/

－ 6. 外部メディア

データを移行するための外部メディア（USB メモリや CD-R 等）

4. 新パソコンの準備

－ 1. 時刻補正

パソコンの時計を合わせてください。

－ 2. 電源管理（コントロールパネル－電源オプション）

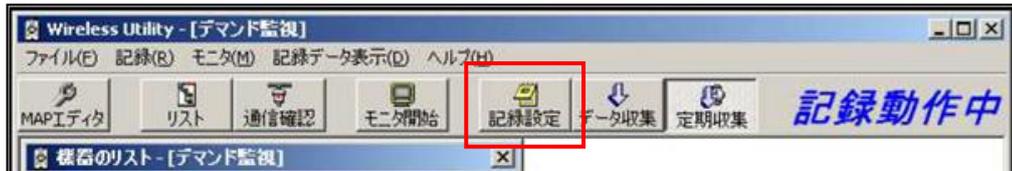
「コンピューターをスリープ状態にする」は、「なし」と設定してください。



【旧パソコン】

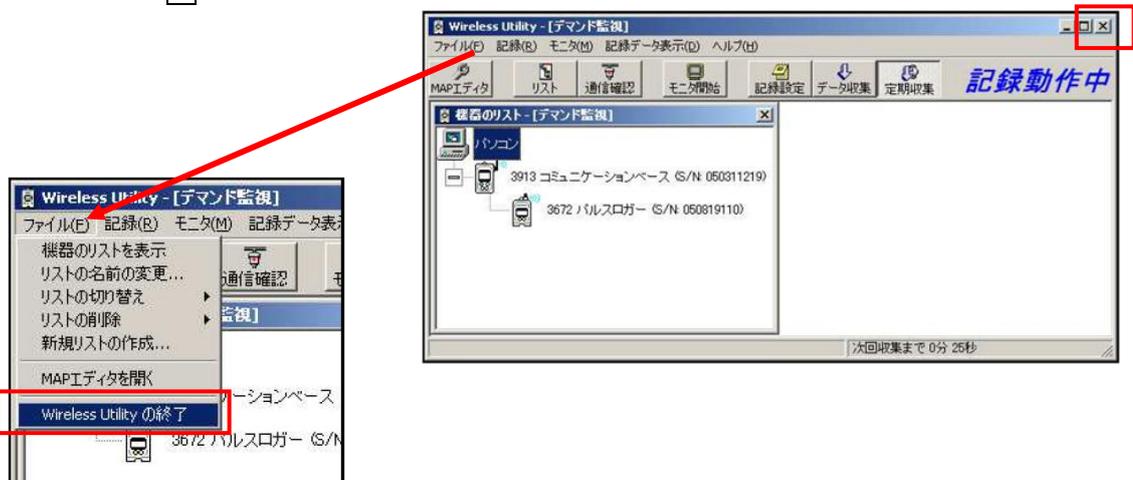
5. Wireless Utility での操作

※ : Windows7 では、セキュリティ機能の強化により、旧パソコン (XP) と同じ保存先 (C:\Program Files\WirelessUtility) に、記録データを保存できないことがあります。この場合、「記録設定」ボタンを押し、「記録の開始と停止」画面で、「記録停止」ボタンを押し、**一旦記録を停止してから**、以降の作業を進めてください。

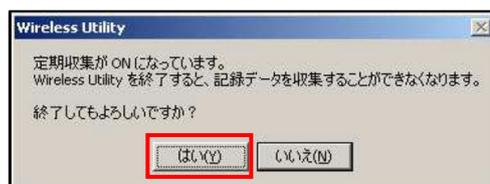


記録停止中は、データの欠損およびデマンド監視ができませんので、電力の使用が少ない時間帯での作業をお勧めいたします。

- ー 1. 記録動作を継続 (「記録動作中」と表示)、および定期収集も実行した状態で、メニューバーの「ファイル」－「Wireless Utility の終了」をクリックします。(または右上の をクリックします)



- ー 2. 下記メッセージが表示されますが、「はい」をクリックし、Wireless Utility を終了します。

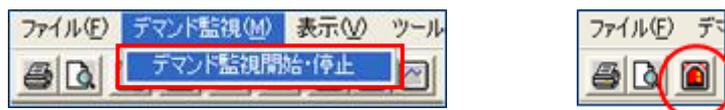


【旧パソコン】

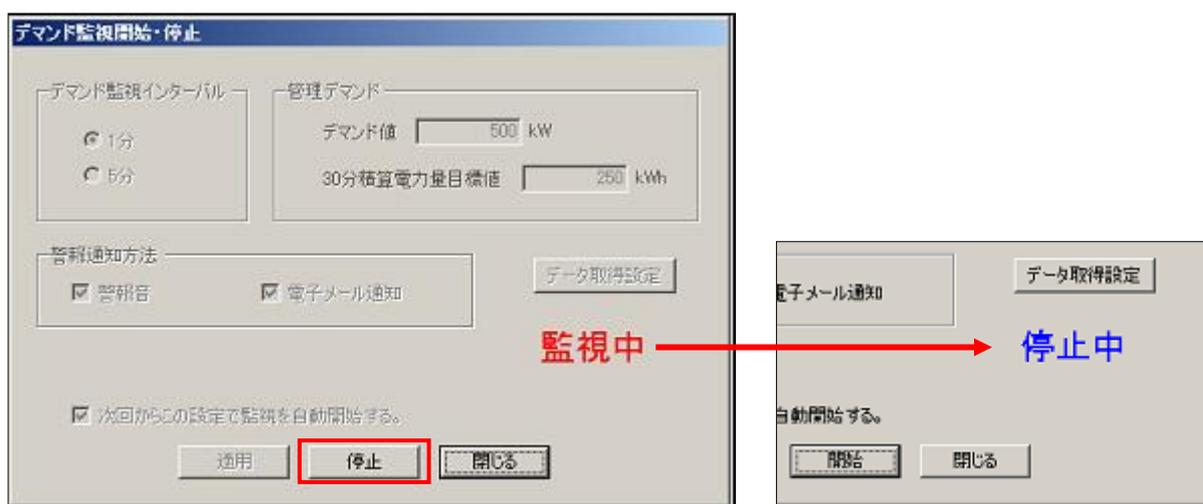
6. デマンド監視ソフトでの操作

「デマンド監視ソフト (9688/9688-01/9688-30)」、または「デマンド監視制御ソフト (9689)」を終了します。

- ー1. メニューバーの「デマンド監視」－「デマンド監視開始・停止」をクリックします。
(または、ツールバーの  アイコンをクリックします)



- ー2. 「デマンド監視開始・停止」画面で、「停止」ボタンをクリックします。
(「監視中」の表示が「停止中」に変わります)
(9688-01 の場合、全ての測定ポイントについて同様な操作をします)



- ー3. 「閉じる」ボタンをクリックし、「デマンド監視開始・停止」画面を閉じます。
- ー4. メニューバーの「ファイル」－「終了」をクリックし、デマンド監視ソフトを終了します。
(または、右上の  をクリックします)

【旧パソコン】

7. ファイルのコピー

現在使用しているパソコン（旧パソコン）から、フォルダおよびファイルをコピーします。

- 1. 「Wireless Utility」の場合

インストール先のフォルダ（通常は C:\Program Files\WirelessUtility）を開き、以下のフォルダおよびファイルを、外部メディア（USB メモリ等）にコピーします。

- ① 「Settings」 . . . 機器の構成や測定条件などが保存された「フォルダ」
- ② WUtil.ini . . . 「Wireless Utility」の設定に関するファイル
- ③ log1.txt . . . 通信エラーなどの情報が記録されたファイル
※：容量が大きくなると、log2.txt/log3.txt … と作成されます。全てコピーします。
- ④ 「RECxxxxxxxxxx」 . . . 記録データが保存された「フォルダ」
- ⑤ RECxxxxxxxxxx.hrp . . . 記録データ代表ファイル
- ⑥ WViewer.ini . . . 「Wireless Utility Viewer」の設定に関するファイル
- ⑦ ViewTemplate . . . 「Wireless Utility Viewer」の表示情報の「フォルダ」
(⑥、⑦については、存在しない場合もあります)

※：記録データについて（④と⑤）

④、⑤の名称は、記録を開始する際、「Wireless Utility」が、「RECxxxxxxxxxx」という記録ファイル名を自動的に付けますが、任意の名前に変更している場合もあります。
(xxxxxxxxxx の部分は、記録開始時の年/月/日/時/分を示す 10 桁の数値が入ります)



また、記録データの保存先も、任意に設定できるため、上記フォルダに存在しないことがあります。ツールバーの「記録設定」ボタンをクリックし、「記録の開始と停止」画面で、保存先を確認してください。



【旧パソコン】

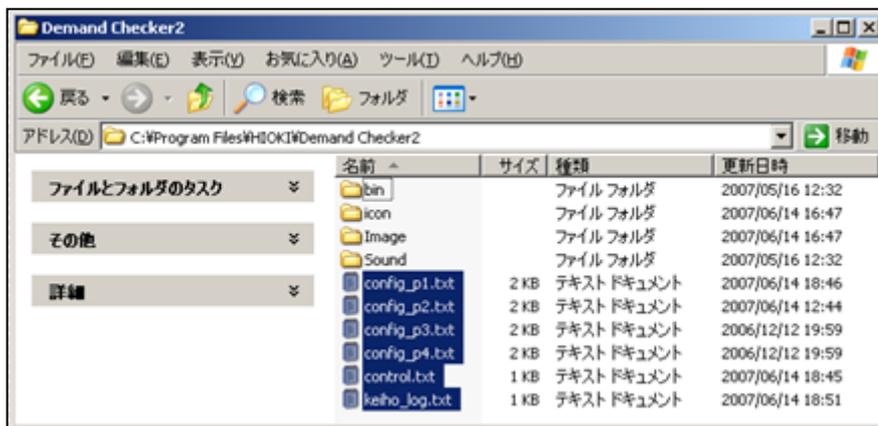
- ー2. 「デマンド監視ソフト (9688/9688-30)」または「デマンド監視制御ソフト (9689)」の場合
インストール先のフォルダ（通常は C:\Program Files\HIOKI\Demand Checker〇）（〇：末尾に
数字がつく場合があります）を開き、以下のファイルを外部メディア（USB メモリ等）に
コピーします。

- ⑧ config.txt 設定ファイル
- ⑨ keiho_log.txt 警報通知の履歴ファイル
- ⑩ smtp.ini メールの認証設定ファイル



- ー3. 「デマンド監視ソフト (9688-01)」の場合
インストール先のフォルダ（通常は C:\Program Files\HIOKI\Demand Checker2）を開き、以下の
フォルダおよびファイルを、外部メディア（USB メモリ等）にコピーします。

- ⑪ config_p1.txt 測定ポイント1 の設定ファイル
- ⑫ config_p2.txt 測定ポイント2 の設定ファイル
- ⑬ config_p3.txt 測定ポイント3 の設定ファイル
- ⑭ config_p4.txt 測定ポイント4 の設定ファイル
- ⑮ control.txt 起動ソフトの設定ファイル
- ⑯ keiho_log.txt 警報通知の履歴ファイル
- ⑰ smtp.ini メールの認証設定ファイル



【新パソコン】

8. ソフトウェアのインストール

移行先のパソコン（新パソコン）に、ソフトウェア（Wireless Utility、9688/9688-01/9688-30/9689）をインストールします。

インストール方法につきましては、各製品の取扱説明書を参照してください。

※：Windows7では、セキュリティ機能の強化により、C:\ProgramFilesにインストールした場合、起動ごとに設定が初期化されてしまうことがあります（特にデマンド監視ソフトにて）。

この場合、インストール先をC:\Program Files以外に設定してください。

（例：Cドライブの直下に「HIOKI」とフォルダを作成し、C:\HIOKIをインストール先とします）

9. ソフトウェアの起動

新しいパソコンで、インストールしたソフト（「Wireless Utility」と「デマンド監視ソフト」の両方）を、一度起動し終了します。

10. ドライバのインストール

インストール方法につきましては、各製品の取扱説明書を参照してください。

－ 1. 3913 の場合

ドライバをインストールしてから、3913とパソコンをUSBケーブルで接続してください。

3913に「Master」と表示されることを確認します。

（特にOSが、64bit版の場合、必ず最新のドライバをインストールしてください）

－ 2. 9688-30 の場合

USB警告灯を利用している場合、ドライバをインストールしてください。

（アイエスエイ社製UX103は、64bit版をサポートしていません）

－ 3. 9689 の場合

R0-16(U) リレー接点出力装置を利用している場合、ドライバをインストールしてください。

【新パソコン】

1 1. ファイルの貼り付け

新パソコンに、旧パソコンでコピーしたファイルを貼り付けます。

- 1. 「Wireless Utility」の場合

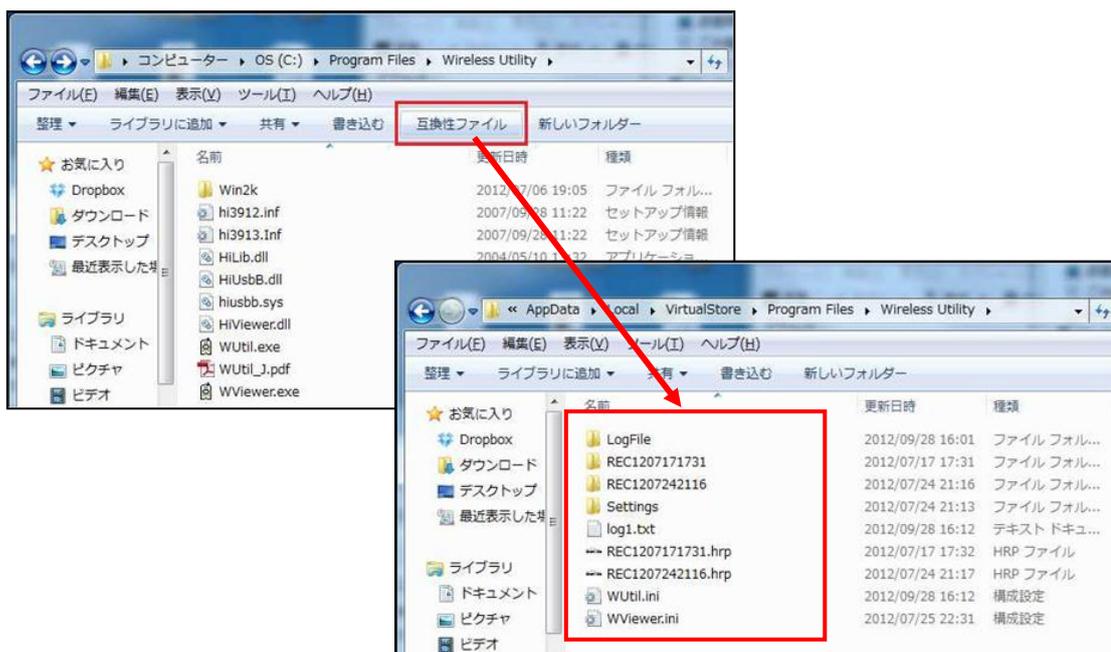
a. 設定ファイルのコピー (①～③、⑥・⑦)

新パソコンのインストール先 (通常は C:\Program Files\Wireless Utility) に、「7-1.」でコピーしたフォルダおよびファイル (①～③、⑥・⑦) を貼り付けます。

※: Windows 7 では、ユーザアカウント制御 (UAC) の設定によって、

C:\Program Files\WirelessUtility のフォルダ内に、コピー先のフォルダやファイルが表示されないことがあります。その場合、「**互換性ファイル**」ボタンをクリックすると、コピー先のフォルダやファイルが表示されます。

同名のファイルやフォルダに貼り付けますので、すべて「コピーして置き換える」を選択してください。



b. 記録ファイルのコピー (④・⑤)

5. で記録を継続している場合、旧パソコンと新パソコンで記録ファイルまでのパスが同じとなるように (例: C:\Program Files\WirelessUtility→互換性ファイルボタンを押した先)、「7-1.」でコピーしたフォルダおよびファイル (④・⑤) を貼り付けます。

5. で一度記録を停止させた場合、コピー先は、C:\Program Files\WirelessUtility ではなく、C:\Users\Public\Documents 内に新規に「DATA」などのフォルダを作成し、C:\Users\Public\Documents\DATA 内に、④・⑤の記録ファイルをコピーします。

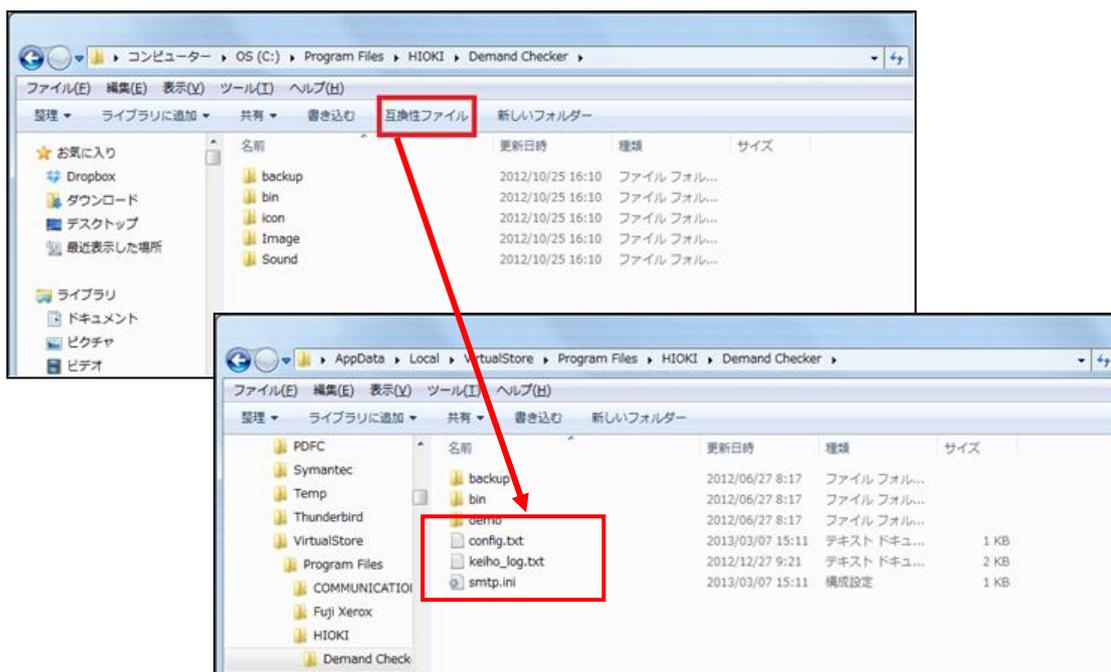
【新パソコン】

- ー2. 「デマンド監視ソフト (9688/9688-01/96688-30)」、「デマンド監視制御ソフト (9689)」の場合
新パソコンのインストール先 (通常は C:\Program Files\HIOKI\Demand Checker〇) に、「7-2.」
でコピーしたファイル (⑧~⑩) を貼り付けます。

「デマンド監視ソフト (9688-01)」の場合、新パソコンのインストール先
(通常は C:\Program Files\HIOKI\Demand Checker2) に、「7-3.」でコピーしたファイル
(⑪~⑰) を貼り付けます。

※: Windows 7 では、ユーザアカウント制御 (UAC) の設定によって、
C:\Program Files\HIOKI\Demand Checker〇のフォルダ内に、コピー先のフォルダやファイルが
表示されないことがあります。その場合、「互換性ファイル」ボタンをクリックすると、コピー
先のフォルダやファイルが表示されます。

同名のファイルやフォルダに貼り付けますので、すべて「コピーして置き換える」を選択して
ください。



【新パソコン】

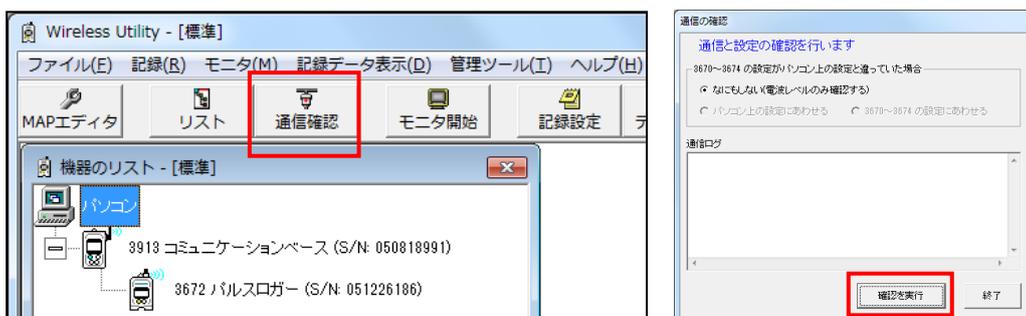
12. ソフトウェアの動作確認

ー1. 新パソコンで、「Wireless Utility」を起動します。

a. 通信確認

ツールバーの「通信確認」ボタンをクリックします。

「通信の確認」画面で、「確認を実行」をクリックし、通信できることを確認します。

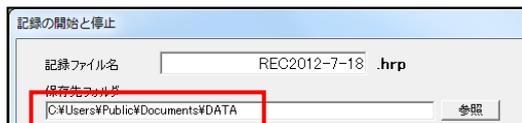


b. 移行時、記録を停止した場合

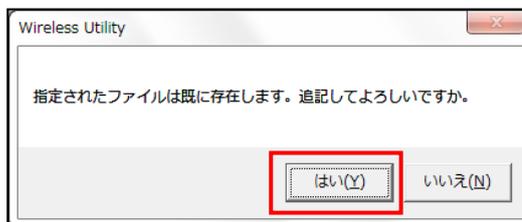
「記録設定」ボタンを押し、「記録の開始と停止」画面で、「記録ファイル名」(⑤と同じ名前)を入力し、「保存先フォルダ」を設定します。

保存先フォルダは、11-1. b. で記録データを貼りつけたフォルダを指定します。

(例: C:\Users\Public\Documents\DATA)



「記録開始」ボタンをクリックし、右のように追加記録のメッセージ画面が表示されることを確認し、「はい」をクリックします。



表示画面とメッセージが異なる場合、記録ファイル名、またはフォルダを確認してください

c. 定期収集の設定

メニューバーの「定期収集」ボタンが、押されていることを確認します。

(ツールバーの「記録」 - 「定期データ収集の設定」で、「30秒」ごとに設定します)

d. 動作確認

記録動作状態(「記録動作中」と表示)と、定期収集が動作することを確認してください。



【新パソコン】

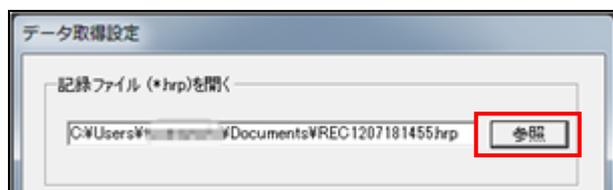
ー2. 新パソコンで、「デマンド監視ソフト (9688/9688-01/9688-30)」、または「デマンド監視制御ソフト (9689)」を起動します。

a. データ取得設定の確認

旧パソコンで一度記録を停止させた場合、新パソコンではデータの保存先が変更されていますので、再度設定します。

ツールバーの  アイコンをクリックします

「デマンド監視開始・停止」画面で、「監視中」と表示されている場合は、「停止」ボタンをクリックします。



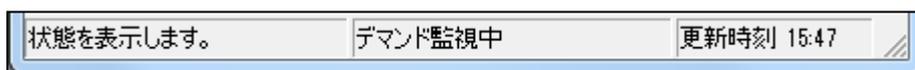
「データ取得設定」ボタンをクリックし、「データ取得設定」画面で、「参照」ボタンを押し、保存先フォルダ中にある、記録ファイル (hrp ファイル) を選択します。

(例: C:\Users\Public\Documents\DATA 内の hrp ファイル)

b. デマンド監視の開始

「デマンド監視開始・停止」画面で、「開始」ボタンをクリックし、「監視中」と表示されることを確認し、「閉じる」ボタンをクリックし、デマンド監視が動作することを確認します。

(ウィンドウ下部の「デマンド監視中」・「更新時刻」を、確認してください)



9688-30 は、「日付と時刻」・「監視中」の表示を確認します。



1.3. スタートアップへの登録

「Wireless Utility」と「デマンド監視ソフト」のショートカットを登録すると、パソコン起動時に自動的にソフトウェアが立ち上がります。

1 4. アンインストール

新パソコンにて、すべての動作が確認できましたら、旧パソコンのデマンド監視ソフトをアンインストールしてください。

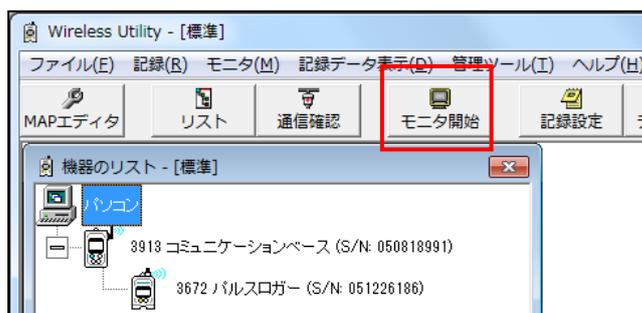
バックアップのお願い

設定移設時に「7-1.」および「7-2.」でコピーしたファイルとフォルダは、CD-R等にコピーして大切に保管ください。万が一パソコンが故障した場合、この設定情報をバックアップしているとスムーズに復旧することができます。

【付録：移行後の確認】

項目	内容	チェック欄
Wireless Utility※	「通信確認」ボタンで機器と通信できますか？	<input type="checkbox"/>
	メニューバーに「記録動作中」のメッセージは表示されていますか？	<input type="checkbox"/>
	「定期収集」のボタンは押されていますか？	<input type="checkbox"/>
	「時計補正」は設定されていますか？	<input type="checkbox"/>
デマンド監視ソフト	更新時刻は、PCの現在時刻と近いですか？	<input type="checkbox"/>
	警報通知方法に、チェックを入れてありますか？	<input type="checkbox"/>
	デマンド警報時の動作をチェックしましたか？ (音、メール、警告灯、リレー接点出力装置)	<input type="checkbox"/>
監視用パソコン	時計は正確ですか？	<input type="checkbox"/>
	電源管理の設定はしましたか？	<input type="checkbox"/>
	各種設定のバックアップは作成しましたか？	<input type="checkbox"/>

※：モニタ機能を利用すると、通信量が多くなるため、リアルタイム表示の更新に影響がでることがありますので、通常は使用しないで（「モニタ開始」の表示）ください。



以上